



6/21
(月)

川床郵便局新築移転セレモニー 親しみある郵便局へ

6月21日、川床郵便局の新築移転セレモニーが行われました。



セレモニーの参加者ら

セレモニーは新型コロナウイルス感染症の防止対策を講じて規模縮小して行われ、岩切豊副町長や川床自治会の松田宗之会長、郵便局関係者らが参加しました。

旧局舎は昭和44年に建てられ、50年以上地元住民に寄り添いながら年月を経てきました。

平成25年から同郵便局の局長を務めている赤崎弘則さん(赤崎)は「郵政創業150年の記念すべき年に新たなスタートを切れることを光栄に思う。この場所に郵便局があってよかったと地域のかたがたに思ってもらえるよう精進していきたい」と意気込みを語りました。

6/23
(水)

川床小学校で田植え 早く大きくなあれ

6月23日、川床小学校(松永貢校長・110人)で毎年恒例の田植えが行われました。

同校の3・4年生や職員、保護者、地域のかたなど約40名が参加し、夏と思わせるような強い日差しの下、汗を流しながら作業を行いました。

苗は種もみから1カ月ほどかけて発芽させたもので、うるち米ともち米の2種類を植えました。

4年生の加世堂せなさんは「田んぼの中は温かくて気持ち良かった。早く大きくなって収穫するのが楽しみ」と笑顔で話しました。

収穫は10月頃の予定で、学校行事などで活用されます。



地域のかたから指導を受ける児童ら

6/28
(月)

災害ボランティアセンター協定 支援活動を円滑に

6月28日、町と町社会福祉協議会は、災害時における災害ボランティアセンターの設置・運営に



川添町長と協定を交わした中納会長(写真左)

関する協定を結びました。

これは、災害が発生し、ボランティアセンターを設置する場合、必要な情報を事前に共有することで、外部からのボランティア受け入れや、社会福祉協議会の協力を得て、円滑な被災者支援活動を行うことを目的としています。

同日行われた調印式で川添町長は「近年、緊急・災害事態の対応が求められるなかで、専門知識のあるかたとの連携は住民の安心・安全につながる」と話しました。

中納武徳会長は「町社会福祉協議会でもボランティア活動に力を入れてきている。さまざまな機関と連携を図りながら今後さらに取り組んでいきたい」とあいさつしました。